

VOICE & MESSAGE

暁の星で共に過ごす先輩・先生から
生の声をとどけます。

Student's Voice

暁の星にいる幸せ

互いの幸せを分かち合い苦悩も共に乗り越えてくれる仲間や、希望の道へと優しく正しく導いて下さる先生方に囲まれ、学業はもちろん、人としての“心の在り方”というものを私は暁の星で学んでいます。
現在、5年生(高校2年生)。時に心躍る経験も沢山あれば、乗り越えなければならない経験も…。ですが、一度しかない中学高校生時代をこんなにも熱く謳歌でき、幸せや誇りで溢れているのは、ほかでもない『暁の星』がいつも変わらずそこにおいてくれて、どんな時もどんな私達

をも、穏やかに力強くあたかく包み込んでくれるから。その空気は、暁の星に関わってこられた方々によって受け継がれ、今も私達皆で感じ、思いを重ねています。
私も暁の星で過ごす時間が残り少なくなってきました。大好きな暁の星での時間をとても愛しく感じています。だからこそ、今を、暁の星の生徒である喜びと自覚を持ち、誠実に“私に出来る Women For Others”を全うしていきたいと思っています。

5年生
生徒会会長
Moe Kawahara
川原 萌



Student's Voice

理想の女性になるために

私は、暁の星ならではの女性教育にひかれ、この学校への進学を希望しました。
暁の星では、独自の行事がたくさんあります。例えば、5月、マリア様に感謝する聖母祭はマリア様のような理想の女性に近づくための歩みです。また、9月の記念祭パザーでは、自分たちで工夫し、模擬店や遊戯店を出店してお客様に楽しんでもらえるかを考えています。そして12月にあるクリスマス奉仕活動では、学校から一歩外へ踏み出し、社会に奉仕することで

他者とともに生きていく基礎を身につけることができます。これらのことは私にとって人生の目的と使命感を感じるよい機会となっています。私は、暁の星での活動を通して、自分の心を磨きマリア様のような理想の女性に近づけるように努力していきたいと思っています。

3年生
生徒会副会長
Kumiko Tomotaki
友滝 久美子



Student's Voice

充実した学校生活の中で

入学して初めは、不安でいっぱいだったけど、最初の行事だった仲間作りの体験学習では、うどん作りを通してみんなとすぐにうちとけて仲良くなることができました。暁の星には他にも、聖母祭や合唱コンクールなど小学校にはなかった行事が色々あり、どれもとても楽しいです。また、アンジェラスの鐘やおにぎり弁当、ドア係など暁の星にしかない伝統もたくさんあってびっくりしました。
教室に行ったらクラスのみんなが話しかけてく

れ、授業では先生が楽しくわかりやすく教えてくださり、クラブでは先輩が優しく声をかけてくださる、このように私の暁の星での生活はとても良い環境に恵まれています。
私は、この充実した学校生活の中で色々な経験をjして将来の夢や目標を見つけ、他者のために生きることのできるすてきな人になりたいと思います。

1年生
福山市立東小学校卒業
Hitomi Kawamura
河村ひとみ



Student's Voice

勉強とスポーツの両方をやりきりたい

それが高校生活での目標でした。私は、この目標を達成するために高校から暁の星で学んでいます。どの高校に入学するか、その選択に悩みましたが、やはり、私の高校生活の目標を達成できるのは暁の星だと思い入学を決めました。入学して、まず一番感じたことが授業の質の高さです。落ち着いた雰囲気の中、私は今、大学進学に向けての内容の濃い授業を受けています。また、グローバル化に対応するコミュニケーション能力も鍛えてくれる学校であると感

じています。また、スポーツにおいても、先生方をはじめ優しい先輩、そして仲間たちと切磋琢磨しながら目標に向かって日々、努力を積み重ねています。
勉強とスポーツを両立させることは、容易ではありませんが一日一日を大事にひたむきに努力を重ねることができるのがこの暁の星です。今、私は毎日が充実しています。この暁の星との出会いを大切に、必ず夢を現実させます。

4年生
福山市立鷹取中学校卒業
Miyu Harima
針間 未侑



Teacher's Voice

小さなことに心をこめて

今年も元気いっぱいな新入生のみなさんの暁の星での生活がスタートしました。「先生がいらっしゃるよー」。「ドア係のはつらつとした声で始まる授業、他者のために気持ちをひとつにしてください」。「おにぎり弁当」、おそろいの長いエプロンをつけて行う掃除など、毎日の生活の中の小さな事に心をこめて行うことで、暁の星の伝統や建学の精神を学んでいきます。
そして、聖母月やクリスマスなどの行事では、わたしたちがお手本としているマリア様の姿に倣

い、自分自身の生き方を見つめ直す機会をもって、新たな歩みを始めていきます。また、運動会や文化祭、記念祭パザー、クラブ活動などの場面では、たくさんの仲間や先輩たちと楽しく交流できることでしょう。
「暁の星の門をくぐった人はみな、いつか聖母のみもとに集まって永遠の喜びを味わうことが出来ますように。」—初代校長 マリー・イレース—
暁の星に集うことができたみなさんが、希望をもって歩む毎日でありますように願っています。

1学年主任
Kanae Matsuura
松浦 香奈枝



Teacher's Voice

知的冒険の旅へ

昨年の中学3年から続いて、今年の高校1年の学年主任を受け持っています。中学3年の学年目標は「aha!学ぶ喜び」でした。中学3年は「覚えてできる勉強」から、「分かる喜びを求める勉強」言い換えればaha!体験に満ちた勉強に変わる時期とらえているからです。今年の高校1年の学年目標は「自分を知り、相手を知り、世界を知る」です。教えられる分かる受け身の勉強から脱し、知的な冒険の旅に勇気をもっての

り出すことから本当の勉強が始まります。そのために、カナダバンクーバーへの修学旅行は素晴らしい機会となるでしょう。そこには大自然と人間の文明が共存するスケールの大きな都市があり、多様な文化をもつ人々と過ごす時間があります。森羅万象に対する興味関心を深め、他者の多様な個性を受け入れ、自分の現状を見つめることによって、確かな志の礎を築く1年にしたいと思っています。

4学年主任
Hiroshi Matsusaka
松坂 浩



Teacher's Voice

何事にも笑顔で生き生きと!

暁の星の生徒会執行部は中高あわせて22名で活動しています。会長をはじめとして美化や学習など各係りの委員長や副委員長が、日々主体的に生徒の学校生活に関わっています。暁の星の生徒会は、日常を、生徒自身の力でよりよいものにしよう、ということを目指しているからです。中高一緒に活動していることも特徴の一つです。日々の忙しい学校生活の中でも、高校生が中学生を気遣い、中学生は高校生のために自分にできることを考えて、お互いに協力合っています。

暁の星は生徒中心の行事が多く、執行部は月に1回全校生徒が集う生徒朝礼をはじめとして、運動会、文化祭、予備会、といった様々な行事の企画や、運営にも携わっています。準備の段階では困難も多く、生徒たちは何度も話し合いを重ね、自分たちの考えを出し合いながら意見をまとめていきます。生徒たちが学校の縁の下の方もちとして、様々な苦勞をいとわないことは何よりもすばらしいことだと思います。何事にも笑顔で生き生きと頑張る生徒の姿に、私はいつも感心させられています。

生徒会顧問
Izumi Kinugasa
衣笠 泉

